

「経済社会開発計画」医療機材供与式の実施

5月30日、合田秀樹駐キルギス日本大使は、国立心臓病センター及び保健省付属国立病院で開催された、対キルギス無償資金協力「経済社会開発計画」供与式に参加しました。同式典には、イスマイロフ保健省次官、ソオロンバエフ心臓病センター院長、トロゴノフ国立病院医長も参加しました。

本計画は、日本政府の拠出により、総額5億円（供与限度額）で実施されました。本計画により、MRIシステム、X線撮影装置、超音波診断装置が国立心臓病センターに供与され、CTスキャナーが保健省付属国立病院に供与されました。これらの高度な医療機材が整備されることで、キルギスの医療機関の診断・治療能力が向上し、より多くの人々が、質の高い医療サービスを受ける機会を得ることを期待します。

